

平成26年度1／四半期「ひとり1改善運動」表彰内容一覧

団体表彰 1件

区分	表 彰 内 容
改善	市町村決算統計の検収について、ヒアリングによる検収の原則中止、県民局と本庁の役割分担の明確化、市町村のセルフチェックシートの充実、検収項目の重点化、県民局検収担当者研修等の充実により、作業の効率化を図った。

個人表彰 9件

区分	表 彰 内 容
提案	知事の発言概要をすぐに取りまとめ、全庁共通システム等に掲載し、施策の立案や予算編成に結び付け、スピード感ある県政を実現する。
改善	特命随意契約により実施していた産業廃棄物ミニ実態調査について、業務仕様書の具体化や定期的なチェック、進行管理をきめ細かに行うことで、一般競争入札による業者選定が可能となり、委託費を大幅に削減した。
提案	電話をかける側のマナーとして、最初に必ず所属や名前を伝える。
改善	結果の再現性を得るため類似の栽培を数年間連続して行う栽培試験研究業務において、1時間単位で作業計画の調整、記録付けを行い、次回の栽培試験の効率化、早めの準備等に役立てた。
提案	消防庁eーカレッジを利用し、各所属のLANで災害時対応について学習することにより、災害に対する総合的な視点を身に付ける。
改善	収支計画の報告を3か月計画として毎月更新するよう見直したことで、各支払日までの必要額の運用、残る資金のより長期の運用を可能にするとともに、収支計画の精度の向上や経理職員の業務の平準化にもつながった。
改善	毎月の給与支給事務において、各担当者の詳細な事務チェックリストを作成し、事務処理の漏れをなくすとともに、担当者間で事務の進捗状況の把握を図った。
改善	水質汚濁防止法施行時に提出されためん類製造業等の使用届出書を食品営業等の許可台帳と突合することで、廃止等の届出をさせ、書類整理を行った。
改善	P D C Aサイクルで質の高い事業を推進するため、会議や研修会等を主催した場合の報告書は、事業評価、次年度の計画や方針案を盛り込んだ様式とし、復命書も、自所属ではどのように取り組むかの案を記載することとした。

改善・・・仕事等の中で自ら取り組んだ改善内容

提案・・・仕事等において気づいた点や、研究した成果等を基にした事務改善等に関する意見・提案